

安倍政権の 国政私物化許さない

加計学園
陸自日報



安倍首相(左)、加計理事長(中央)、萩生田光官房副長官(右) 13年5月、安倍氏の別荘で

「速やかに九条二項を削除するか、あるいは自衛隊を明記した第三項を加えて二項を空文化させるべき」
(小坂実・日本政策研究センター研究部長・「明日への選択」昨年11月号)
*日本政策研究センター代表は日本会議の政策委員。

「記憶・記録ない」疑惑にこたえず

「記憶・記録がない」 要望を知ったのは今年1月20日だったと答弁。日本共産党の小池晃書記局長が従来の首相答弁から「2年前の6月には知っていたのではないか」と追及すると、「知りうる立場にあつたが、実際には認識しなかった」など、しごろもどろ。

小池氏は一連のプロセスに「一点の曇りもない」との説明の撤回を求めましたが、首相は拒否しました。

首相は閉会中審査(7月24、25日)で、「加計」の獣医学部新設の

右翼・改憲団体 「日本会議」提案をうのみ

9条改憲

安倍首相は「憲法9条1項・2項を残しつつ自衛隊を書き込む。オリンピックの2020年に施行する」と改憲を宣言。秋の臨時国会に

自民党改憲案を出すと言っています。この9条改訂の計画は、右翼・改憲団体「日本会議」の提案を首相が鶴呑(つ)のみにしたものです。国政がウルトラ右翼の潮流によって私物化されていることを示しています。



「安倍やめる」のコールとともに巨大な横断幕が登場 7月9日、東京・新宿駅東口

野党+市民 急いで 共闘の態勢を

都議選で自民党は議席を半減させる歴史的な大惨敗。安倍政権に都民がレッドカードを突き付けました。

これを受け日本共産党は、速やかな解散・総選挙を求めるとともに、野党と市民のしっかりと共闘態勢を最大のスピードで作り上げて安倍政権を退陣に追い込むため奮闘します。

仙台市長選 共闘で勝利

7月23日投票の仙台市長選で共産、民進、社民、自由の4野党と「市民の会」が全面支援した郡和子さんが自公候補を打ち破り初当選しました。安倍政権に対する深い怒りが示されるとともに、野党と市民が共闘すれば自民・公明に打ち勝てることを証明しました。

すみやかな解散・総選挙を 日本共産党

体質に嫌悪感

内閣支持率 2割台に

	支持	不支持
[毎日]	26% ↓10	56% ↑12
[時事]	29.9% ↓15.2	48.6% ↑14.7
ANN	29.2% ↓8.7	54.5% ↑12.9

7月世論調査、↑↓は前月比較(ポイント)

安倍さん信用できない 6割

